

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第46号 平成30年10月19日発行



第9期とちぎの教育未来塾スタート！

育てます

今年度は202名の応募をいただき、10月6日(土)に開講しました。本研修は、学生や期限付講師、若手教員の育成の場として、1月までに20講座を開催します。受講者同士が共に学び合うことを通して、教職に対する情熱・使命感を高めてほしいと思います。

ここでは、第1日の研修の様子を御紹介します。

1. 開講あいさつ

当センター所長が、本研修の目的や受講者への期待を伝えました。

2. オリエンテーション

3. 講話「目指す教師像～教師を語ろう～」

各自の「目指す教師像」を確認し、高めたい資質・能力から自己実現に向けた具体的な目標を立てました。



<受講者の声>

【現職】現場の忙しい日々を追われ、目の前のことばかりにとらわれていたので、初心に立ち返って自己を見つめることができました。教師という誇りある仕事を選んで良かったという思いをもつことができました。

【学生】他大学の学生や現職の方々と、熱意のこもった協議ができ、とても充実した時間を過ごせました。目標→課題→努力という筋の通った今後の見通しをもつことができたので、実践していきたいと思います。

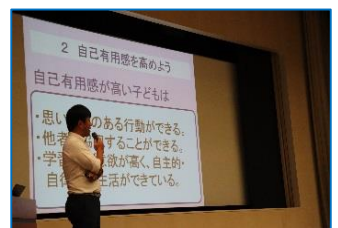
4. 講話「自己有用感を高めるために」

日本の学校の特質である「集団生活の場」を生かして、自己有用感を高める手立てを班別の協議をしながら考えました。

<受講者の声>

【現職】現実的な手立てばかりを考えていましたが、学生の皆さんのフレッシュな意見や考えを聞き、発想を柔軟にすることができました。また、学生の皆さんから質問を受けることで、自分の考えを深めることができました。

【学生】「自己有用感」と「自尊感情」の違いを理解することができました。演習は、大学でも経験したことがない内容で少し難しかったのですが、班のメンバーに助けられ、多くの学びを得て、視野を広げることができました。



受講者の互いに学び合う姿が会場にあふれていました。研修の様子は以下のWebサイトから御覧いただけます。今後とも「とちぎの教育未来塾」をよろしく願いいたします。

【問合せ先】 研修部 (Tel. 028-665-7202)

→Click!

http://www.tochigi-edu.ed.jp/icnt/kenshu-c-h30/?page_id=215

とちぎレインボーネットをリニューアル!

支えます

「とちぎレインボーネット」という Web サイトをご存じでしょうか。「とちぎレインボーネット」は生涯学習の視点に立ち、様々な生涯学習関連の情報を提供していますが、学校においても活用できるサイトとなっています。この Web サイトがリニューアルされ、検索機能の充実等を図り、より見やすく、使いやすく、親しみやすくなりました。



次のようなときに、学校でも役立てることができます!!例えば…

○生徒のボランティア活動を活性化させるためには?

- とちぎかがやきネットのバナーからボランティア活動情報に入っていただくと、対象、地域、分野等を絞って情報を検索することができます。例えば、次のような情報が検索できます。
例：那須高原ハーフ&ファミリーマラソン 2018 ボランティアスタッフ募集
「熱気球係留スタッフ養成事業」参加者募集等
これらの情報を生徒に提供することで、地域で生徒が活躍するきっかけづくりになります。

○人権教育をどのように進めればいいのか?

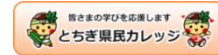
- 視聴覚ライブラリーには、授業で活用できる人権教育に関する教材があります。Web サイト内の視聴覚教材情報で教材を検索し、使用したいものがあれば学習情報センターへ御連絡ください。教材を貸し出すことができます。人権の視聴覚教材を活用して授業を組み立ててみてはいかがでしょうか。

○地域連携をもっと充実させるには?

- ボランティア人材情報では、活動分野ごとに美術・工芸・書道・舞踊(ダンス)・演芸、音楽、語学、文学・文芸、生活・趣味、福祉(ボランティア)、生涯学習、産業・政治・経済、自然・社会科学、スポーツ、家庭教育、祭り・文化財等の人材情報検索ができます。個人や団体のボランティア人材を生かして体験活動等を行ったり、PTA 活動の活性化を図ったりしてみてはいかがでしょうか。

検索サイトから「とちぎレインボーネット」と検索するか、総合教育センターの Web サイトから入ることができますので、ぜひご覧いただき、各学校における地域連携活動の充実や生涯学習推進の一助としてお役立てください。リニューアルにともない、一部のページの URL が変わりましたので、ブラウザの「お気に入り」「ブックマーク」等に登録されている場合は、新しい URL への変更をお願いします。

今後も学校でも活用していただける Web サイトを目指して、内容のさらなる充実を図り、皆様にとって有益な情報提供を行ってまいりますので、よろしくお願いします。



<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/>

問い合わせ先
生涯学習部・図書資料室

(TEL 028-665-7206)

学習情報センター

(TEL 028-665-7207)

生涯学習部には、教育関係の図書をはじめ県内外の教育関係資料や専門誌の貸出しを行っている図書資料室と、学習活動に関する情報提供・相談を行っている学習情報センターもあります。ぜひお立ち寄りください。また、学校から依頼があれば、教職員や保護者向けに人権教育のワークショップを実施したり、保護者会等で親学習プログラムを実施したりすることが可能です。いつでもお気軽に御連絡ください。

教育相談の御案内

支えます

総合教育センターでは、子どもに関する以下のような悩みや不安について、教育相談を行っています。学校だけでは対応が困難な場合など、どうぞ御利用ください。

- 登校できない
- 学校生活や学習への意欲に乏しい
- 友だちとうまくかかわることができない
- 言葉が遅れている
- 不安や緊張が強い
- 反抗したり、乱暴したりする
- 手や足の動きがぎこちない等

- ◇相談の対象
県内の幼児・児童・生徒及びその保護者等
- ◇相談時間
平日 《午前》 9:30～12:00
《午後》 13:00～17:15
- ◇教育相談の申込み
・予約制ですので、電話で申込みをしてください。
☎ 028-665-7210・7211（教育相談部）
・申込みは、保護者の方からお願いします。
・申込みの受付は月曜日から金曜日までです。
- ◇その他
・来所による相談です。
・相談の秘密は厳守します。
・費用はかかりません。
・学校へのコンサルテーションも可能です。

また、学校支援として、学校生活への不適應感が心配される児童生徒や、特に配慮を要する児童生徒等に対する指導・支援について、先生方と一緒に考えさせていただくことができます。先生方にセンターに来所していただくほか、学校での事例検討会やケース会議に参加することも可能ですので、お気軽に御相談ください。

【問合せ先】 教育相談部（Tel 028-665-7210, 7211）

幼児教育情報誌「おうち」第33号ができました！

支えます

「おうち」は、幼児教育に関わるテーマについて、保護者のアンケート結果を基に作られる双方向性のある幼児教育情報誌です。

幼児教育センターでは、「おうち」を通して、保護者が、「子育ては楽しい」と感じることができるよう、幼児期の子どもの発達や大切にしたい大人の関わりなど、幼児教育に関する情報を提供しています。

主に、幼稚園・こども園・保育所等を通して、県内の3歳～5歳の子どもをもつ家庭に配布していますが、幼児期の発達や学びを理解していただくために、小学校や高等学校にも配布しています。幼児期の子どもをもつ親の本音や悩み、幼児教育の専門家からのアドバイスなどが掲載されています。ぜひ、御一読ください！



第33号のテーマは「文字に親しむ」です！「文字に親しむ子どもの姿とは？」「幼児期に大切にしなければならぬことは？」など、興味深い内容が満載だピョッ！

幼児教育センター
マスコット ぴよちゃん

※御覧になりたい方はこちらから！ [→Click! http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/joho/ouchi.htm](http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/joho/ouchi.htm)

○この通信に関する御意見・御感想をお待ちしています。

入力・送信は [こちら](#) から

・センターホームページ（TOP）は、[こちら](#)

・学びの杜通信のバックナンバーは、[こちら](#)

